

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	武庫川づくりと流域連携を進める会	代表者名	理事長 佐々木 礼子
事業名	治水と環境のバランスがとれた天然アユが遡上する健全な流域環境づくり ～住民主導・三位一体の武庫川づくりをめざして		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2020年 6月 7日	「春期全国一斉・武庫川流域水質調査」武庫川本川20箇所（コロナ禍で支川欠測）でCOD, NO ₃ -N, NH ₄ -N, PO ₄ -P, 気温, 水温（特異点はEC, 塩分濃度）を計測、各地点で水辺のすこやかさ33項目調査、全国水環境マップ、武庫のながれに掲載
8月 4日	「夏の土用特異点化学物質分析水質調査（神戸女学院との共同研究）」武庫川中下流（神戸市北区道場町～宝塚）の特異点9箇所で採水、神戸女学院大学環境・バイオサイエンス学科環境科学研究室で化学物質を分析
8月22日	「第5回武庫川づくりサイエンスコンシル」さらら仁川シルバールーム 川づくり科学協議会、講師：佐々木礼子「令和2年度のサイエンスコンシルについて ・各専門部会グループの年度活動目標と進捗状況、課題・Zoom体験実習1
10月 4日	「武庫川ウォッチングVol. 31～隣接流域に学ぶ、動物と人との共生～廃坑・害獣駆除・生きものetc.」 場所：豊能郡猪名川町内馬場、講師：法西浩、吉田博昭 観察レポート： https://2011muko.jimdo.com ⇒自然環境・環境
10月31日	「第3回武庫川づくり水辺の環境フォーラム」～気候変動に伴い治水対策はどうなるのかそして環境との折り合いをどうつけるのか 場所：ピピアめふ 基調講演：島谷幸宏氏 コメンテーター：瀧健太郎氏、三橋弘宗氏、渡部完氏、八尾昌彦氏、佐々木礼子 コーディネーター：長峯純一、総合司会：山本義和
11月 1日	「秋期武庫川流域一斉水質調査」武庫川本支川22箇所でCOD, NO ₃ -N, NH ₄ -N, PO ₄ -P, 気温, 水温（特異点についてはEC, 塩分濃度）を計測、各地点で水辺のすこやかさ33項目を調査、武庫のながれに掲載
11月 8日	「武庫川ウォッチングVol. 32～住吉川のアユ生態観察（武庫川との比較）」 場所：住吉川河口～阪神住吉川、 講師：法西浩、吉田博昭、佐々木礼子、古武家善成、木村公之 観察レポート： https://2011muko.jimdo.com ⇒自然環境・環境
11月12日	「秋の特異点化学物質分析水質調査」（神戸女学院との共同研究） 武庫川下流～河口の特異点9箇所で採水、神戸女学院大学環境科学研究室で化学物質を分析、武庫川守：吉田博昭、佐々木礼子

12月～現在	「ひょうごecoユースフォーラム」 兵庫県のホームページから当会活動紹介の動画を配信中 https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/2020youtheco.html
2021年 1月23日	「第6回武庫川づくりサイエンスコンシル」さらら仁川 川づくり科学協議会、講師：佐々木礼子 「武庫川づくり水辺の環境フォーラムの 成果から今後を考える・令和2年度専門部会各チームの活動成果と「共生のひろば」への発表にむけて・Zoom体験実習2」
2月 5日	「武庫川守公開景観・環境調査」 森興橋～武庫川峡谷の終点である生瀬橋周辺～宝塚観光ダムにかけて進行する河川改修工事によって大きく改変しつつある河川環境や景観を視察
2月11日	「共生のひろば(兵庫県立人と自然の博物館主催)」オンラインパネル出展 「武庫川づくりサイエンスコンシル(三位一体川づくり科学協議会)」の専門部会による年度成果を発表 URL : https://kyousei16th.sakura.ne.jp/
2月21日	「武庫川ウォッチングVol. 33～甲子園浜の冬鳥と生きもの観察」 場所：阪神「武庫川団地」～甲子園浜(武庫川の砂で養浜)、 講師：吉田博昭、佐々木礼子、土谷厚子 観察レポート： https://2011muko.jimdo.com ⇒自然環境・環境
3月16日～23日	「宝塚市環境パネル展」 場所：逆瀬川アピアにて出展
4月～3月 天候と水量を見極め週2～3日	「水辺の小技による武庫川づくり実践」～絶間なく自然に流れ続ける水流を利用して水辺の流れづくりを継続することで多様な生きもののパラダイスを再生、 場所：仁川合流付近 武庫川守：吉田博昭、亀井敏子、山本義和、佐々木礼子
4月～3月 月1～2回	「天然アユ遡上復活に向けた基礎調査」 場所：武庫川本川 (潮止め堰～武庫川峡谷西宮市青葉台付近の主に百間樋と観光ダム下流)、 比較河川(住吉川、津門川) 武庫川守：古武家善成、木村公之
4月～3月 月1～2回	「河川環境および景観ストック作成調査」～武庫川流域圏の水辺の環境・景観をデータ化してストックし、次世代や将来の川づくりに活かす 武庫川守：中～上流担当…土谷厚子、下流担当…辰登志男
4月～3月 月2回および 大雨出水後	「武庫川守河川実態調査」武庫川守による武庫川流域圏の実態調査 リアルタイムの河川の実態と武庫川守レポートをホームページとYouTube、 機関紙「武庫のながれ」に掲載 URL : https://2011muko.jimdo.com/ YouTube : https://www.youtube.com/channel/UCiC8ld0a50y0x65bBKDeuGA
最終火曜日 但し4月のみ コロナにより中止	「定例運営会議」場所：宝塚市「ぷらざこむ1」 参加者：運営委員

<効果と成果>

ウィズコロナの時代になり、世の中は一気にオンライン化が進行しました。私たちの活動も1年を介してこれらを導入した結果、そこを窓口にバーチャルからリアルな自然に触れることを求めて、子どもからお年寄りまでもが水辺の自然環境での川遊びの楽しみに目覚めることになりつつあることを発見しました。一方で、武庫川流域圏においても温暖化による記録的短時間大雨情報が当たり前のように発令されるようになり、自然の猛威に流域住民が力を合わせて流域対策に臨まなければならない時代に突入していると感じている人が増加していると思います。そこで私たちは、流域住民による草の根的な小さな川づくりの集積によって川づくりに参画し、住民主導で行政や専門家と住民が三位一体で実現する誰もが知るアユを指標に「人を含む多様な生きものが安寧に暮らせる武庫川流域圏づくり」をリードする活動を続けていきたいと考えています。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
年会費、参加費	18,200
自己資金	5,496
合 計	523,696

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直 接 経 費	調査費	264,312	264,312
	謝金	95,000	95,000
	小 計	359,312	359,312
間接経費 (一般管理費)		164,384	140,688
合 計		523,696	500,000